

中学校 音楽科



1 学習評価で大切にしたいこと

(1) 「知識・技能」のポイント

学習指導要領の内容事項イ及び事項ウの「次の(ア)及び(イ)」の部分に、学習内容等に応じて(ア)、(イ)のいずれか又は両方を適切に選択して置き換え、文末を「～している」に変更して評価規準を作成します。

(2) 「思考・判断・表現」のポイント

学習指導要領の〔共通事項〕アの文末を「考え、」に変更して文頭に置き、事項アの文末を「～している」に変更します。なお、事項アの前半の「知識や技能を得たり生かしたりしながら」は、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」とが、どのような関係にあるかを明確にするために示している文言であるため、「内容のまとめりごとの評価規準」としては設定しません。

2 評価の観点と趣旨

「指導と評価の一体化」を図るためには、学習指導要領の目標や内容とあわせて、下記に示す評価の「観点と趣旨」を確認することで評価の基本的な枠組みを捉えることができます。題材の評価規準を作成する際に、この趣旨を踏まえた上で題材で中心的に扱う指導事項を位置づけていきます。

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|--|--|--|
| 趣旨 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 | 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 | 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

3 各観点における評価規準の作成について

知識・技能

「知識」は、観点の趣旨を「～について理解している」と示しているため、そのまま評価規準として設定することができます。具体的には「～」の部分に、その題材の領域や分野、学習内容等に応じて事項イの(ア)(イ)(ウ)から1つ以上を適切に選択し置き換えます。「技能」は、技能を身に付けて表現している状態を評価することになるため、観点の趣旨を「創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、～で表している。」と示し、その文言を用いて評価規準を設定します。なお「B鑑賞」の題材においては設定しません。

思考・判断・表現

「思考・判断・表現」は、観点の趣旨を①〔共通事項〕アに関すること、②「A表現」に関すること、③「B鑑賞」に関することで構成し、「～している。」と示しています。「音楽を形づくっている要素」の部分には、音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの中から、その題材の学習内容を踏まえて適切に選択して置き換えます。なお、音楽を形づくっている要素については、〔共通事項〕アを「思考力、判断力、表現力等」に関する資質・能力として明確化したことの趣旨を踏まえ、「生徒の思考・判断のよりどころとなる」ものとして適切に選択することが大切です。事項アでは、前半部分に「知識や技能を得たり生かしたりしながら」は、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」とがどのような関係にあるかを明確にするために示している文言であり、題材の評価規準としては設定しません。

主体的に学習に取り組む態度

本評価については、観点の趣旨を「～取り組もうとしている」と示しているため、そのまま評価基準として設定することができます。文頭に「○○に関心をもち」を加え、その題材の学習において生徒に興味・関心をもたせたい事柄を記載します。その際「○○に関心をもち」の「○○」は「その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要な、扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容など、生徒に興味・関心をもたせたい事柄」となるよう十分に吟味して設定します。なお、「関心をもつ」は主体的・協働的に学習活動に取り組めるようにするために必要なものであり、「関心をもっているか」のみを評価するものではありません。

音楽科における「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、意思的な側面を評価します。なお、音楽科では、下記の視点を踏まえ、題材の目標や学習内容等に応じて評価規準を設定します。

ポイント

- 例 ♠ 文頭にその題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要な、取り扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容など、生徒に興味・関心をもたせたい事柄を記載する。
- ♥ 扱う分野を選択して挿入する。

「楽しみながら」の部分は「主体的・協働的に」に係る文言であり、単に活動を「楽しみながら」取り組んでいるものを評価するものではありません。主体的・協働的に取り組む際に「楽しみながら」取り組めるよう指導を工夫しましょう。

第2学年及び第3学年「A表現 歌唱」

| | |
|----------|---|
| 単元の評価規準例 | 歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わい(♠)に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱(♥)の学習活動に取り組もうとしている。 |
|----------|---|